

今中国モバイルクラウドサービスが熱い

CCID コンサルティング
2012年3月23日

2011年、世界ICT産業において革新的な変化が起きた。クラウドコンピューティングとモバイルインターネットをはじめとした代表的な技術イノベーションとビジネスモデルの変革が人々の生活を変えつつあるのだ。こうした背景の中、アップル社のiクラウド、アマゾン社のクラウドドライブ、マイクロソフト社のウィンドウズアジュールといった製品が、クラウドコンピューティングとモバイルインターネットを融合させ、モバイルインターネットにおけるクラウドサービスを実現するなど、モバイルクラウドサービスは急速に発展し始めた。中国市場では、天語、華為、宇龍酷派などのメーカーはクラウド化携帯電話を、百度(バイドゥ)社はモバイルインターネットクラウドサービスプラットフォーム「易平台」を発表。また、テンセント社は携帯電話用クラウドブラウザに着手、モバイルクラウドサービス市場に進出した。さらに、三大通信キャリアはそれぞれのクラウドサービス商品を打ち出し、モバイルオンラインストレージや携帯電話オンライン音楽のようなモバイルクラウドサービスは活況を呈している。中国のモバイルクラウドサービスは新しい段階に入ったといえる。

「統合サービス」: 従来型インターネット企業がクラウドサービスを推進する重要な形式

iクラウドは一見単なるクラウドストレージサービスに見えるが、音楽サービスや、システムバックアップ、ファイル伝送、ノートパソコン、タブレット製品などのプロダクトラインを緊密に融合させるなど、アップル社のハードウェア(iPhone、iPad、Mac)およびソフトウェア(Apps、iOS、Mac OS)を結び付けたものなのである。従来型インターネット企業もこれに追随した。数年前のグーグル社のdocsはまさにモバイルクラウドサービスの原型であったが、モバイルオペレーションシステムAndroidの普及をきっかけに、同社はオンラインストレージ、音楽、映画など一連のサービスをモバイルプラットフォームに移転した。また、アマゾン社はその電子書籍端末Kindle・ファイアに合わせたクラウドサービスを提供、消費者が購入したコンテンツをインターネットに保存することを求めた。その意図は人々の電子書籍、音楽及び映像の購買・利用方法をコントロールすることにある。一方、中国国内において、アリババ社は天語と提携し、同じくモバイルeコマースに着手、クラウドオペレーションシステムとeコマースの統合を通して、従来型インターネットの強みを活かした。

「スマートフォン」: モバイル端末メーカーがクラウドサービスを開拓する重要な媒体

2011年に入って以降、スマートフォンは急速な発展を示した。モバイル端末メーカーは千元台の

スマートフォン、クラウド携帯電話の普及を進めた。CCIDは、2011年中国におけるスマートフォン販売量は4,356万9,000台に達し、2010年より36.1%伸びると予測する。一方、アップル社のiPadをはじめとしたタブレットPCは、すきま時間を楽しめることを可能にした媒体として、多くのユーザーを引きつけた。ユーザーは異なる端末間で個人情報を共有できる、相互運用性のあるアプリケーションに対して高いニーズを示した。モバイルクラウドサービスはこうしたニーズの傾向を満たすことができる上、モバイル端末の限界を突破できる。そのため、スマートモバイル端末の普及や、アプリケーションへのニーズが高度化するのに伴って、モバイルクラウドコンピューティングとの融合がこれ以上ない解決策となった。これによってモバイルクラウドサービスの普及は加速されることだろう。



データ出典: CCID(賽迪顧問)

「業界アプリケーション」: 通信キャリアのクラウドサービス展開における重要な手段に

通信キャリアの「業界アプリケーション」は一貫して中国情報化建設の主体であったが、モバイルクラウドコンピューティングの登場により新たなエネルギーを注入される形となった。通信キャリアによるパブリッククラウドアプリケーションの事例が多くなるにつれ、プライベートクラウドはサーバのバーチャル化に留まらず、デスクトップクラウド、大型クラウドデータセンターも展開し始めた。また、金融クラウド、eコマースクラウド、スマートトラフィッククラウドなど、様々な業界におけるクラウドアプリケーションも現れた。各キャリアによる取り組みでは、中国移动の「ビッグクラウド」というプラットフォームは、中国移动内部のハイパフォーマンスコンピューティングに対するニーズを満たす以上に、業界向けモバイルクラウドサービスの構築により、ビジネス用サービスを個人に提供するという、インターネットのサービスプラットフォームの構築も狙う。さらに、中国电信の「天翼クラウド」戦略プロジェクトは、クラウドホスト、クラウドストレージ、業界クラウドアプリケーションから

構成された「天翼クラウド」という製品を発表。通信キャリアは業界アプリケーションをクラウドサービス発展の重要な趨勢とみており、今後もこの分野に力を入れていくものと見られる。

つまり、モバイルクラウドサービスの発展で、端末メーカーや、通信キャリア、従来型インターネット企業は、従来の事業範囲だけではモバイルクラウドサービスに対するニーズの多様化に対応しきれなくなっている。こうしたモバイルクラウドサービスの産業チェーンは、ネットワークのように拡張を続けると見られ、それと同時に、エコシステム的な形で結びつき、中核企業を中心とする産業クラスターエコシステムがいくつか形成されることになるだろう。モバイルインターネットビジネスモデルは、異なるタイプのエコシステム間の競争を核に展開され、中国モバイルクラウドサービスの発展へと繋がる新たな事業モデルの誕生と革新の起爆剤になると考えられる。

以上

中国市場調査サービス



中国市場調査レポート

中国市場の今を知る
最新マーケティングレポート

2010-2011年版中国市場調査レポートを
4月1日より販売開始。詳細はこちら↓
www.j-fep.co.jp/consul/report.html



中国市場データ配信

企業別・地域別最新データの
定期配信サービス

ご希望分野のデータを定期的にお届けする
サービスです。詳細はこちら↓
www.j-fep.co.jp/consul/data.html



中国市場受託調査

政府系コンサル企業による
ニーズ・目的に応じた調査

調査地域・分野を問わず、お客様固有の
ニーズに合わせて実施するカスタムリサー
チサービスです。詳細はこちら↓
www.j-fep.co.jp/consul/custom.html